

考えてみよう

児童・生徒との距離を適切に保った受け答え



相手のSOSを受け止め、相手の心を傷つけないよう配慮しながら、相手との距離を最適に保てる答え方をみんなで考えて話し合しましょう。

「先生、勉強わからないところがあるので部活の後で教えてください。」

→

「先生、成績が上がったら頭を撫でてください。」

→

「先生にしか言えない悩みがあります。すごく困っています。
学校だと先生がすごく忙しそうだから…。連絡先を教えてくださいませんか。」

→

「先生の脇腹を突っついちゃおう。」(ツンツン)

→

「先生～！」(遠くから近づいてきて体当たり)

→

「先生、家族と喧嘩していて、どうしても家帰りたくないんです。」

→

(スマホのSNSアプリに突然ダイレクトメッセージが届く)「〇〇先生のアカ
ウントですよね。〇組の〇〇です。突然すみません。相談したいことがあって…」

→

「先生………」(事情はわからないが、面談中に突然泣き出す)

→

「先生…！」(悩みの相談中になだめていたところ、急に抱きつかれる)

→